

# 大学教員を目指すあなたへ

## 「未来の大学教員養成プログラム」

(大学院等高度副プログラム)



大学教員として教壇に立つために必要な様々な知識や技術、就職時の公募書類や模擬授業について実践的に学びます。

大学教員志望の方はもちろん、  
人材育成や人を教えることに興味がある方を幅広く募集します！

**Webエントリー受付中！！** <https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ffp/form/>

※定員を超えた場合エントリー内容をもとに選抜を行う可能性があります

必修科目「大学授業開発論Ⅰ」のみの履修も可能！

夏学期 豊中キャンパス2021/08/16~18 各日 10:00~18:30

\*日程の一部オンラインあり

秋学期 オンライン 2021/10/29~31 各日 10:00~18:30



# 未来の大学教員育成プログラム

現在、大学教育では、研究力はもちろん、**教育力**も求められています。採用面接の際には、**シラバスの提示や模擬授業の実践**を課すところも多くなってきました。「未来の大学教員養成プログラム」では、大学教員として教壇に立つための様々なノウハウや就職時の**公募書類の書き方**等を学びます。**大学教員志望の方はもちろん、人材育成や人を教えることに興味がある方は是非応募してください。**また大学院に進学すると、研究室や専門分野の近い人との接点はあっても、他分野の方と関わる機会はそう多くないと思います。このプログラムは全ての研究科の大学院生が履修できますので、研究科の枠を越えて様々な方とコミュニケーションできることも魅力のひとつです。「**教育**」という**共通言語**を用いて、**様々な分野の人と交流**してください！

## プログラムの目的

**知識:** 大学生を教える上で必要な教育理論ならびに教育実践に関わる基本的な知識を習得している。

**技能:** わかりやすく、記憶に残り、動機を高め続ける授業や文章指導等ができる。

**態度:** 学生の深くて積極的な学びに強く関心を持ち、それを促そうとする強い意欲を持っている。

## プログラムの内容

**必修 大学授業開発論Ⅰ** 授業デザインと教育技法に関わる基本的な学習

**必修 大学授業開発論Ⅱ** 高度な教育技法のトレーニング、授業実践、授業観察

**必修 大学授業開発論Ⅲ** 教育・研究・社会貢献の抱負の作成、教育実践研究の計画

**選択 学術的文章の作法とその指導** ライティング指導のトレーニング

**選択 現代キャリアデザイン特論** 大学院での学びとキャリアデザイン

**選択 研究方法とアウトリーチのデザイン** 様々な研究方法論の学習、自身の研究に基づくアウトリーチの実践

※「大学授業開発論Ⅰ」のみの受講も可能です。

※ その他、COデザインセンター開講科目の一部が選択科目として提供されています。

## 授業例 必修科目「大学授業開発論Ⅰ」

### 授業内容

- ・ コース・デザイン（シラバスの書き方）
- ・ グラフィック・シラバス作成
- ・ 講義演習（マイクロ・ティーチング）
- ・ 講義法
- ・ 多様な教育技法／アクティブラーニング
- ・ クラス・デザイン（授業計画の書き方）
- ・ 学習評価法
- ・ ルーブリック作成
- ・ 模擬授業とピアディスカッション
- ・ 教育の抱負の作成

## これまでの参加者の声

- \*自分の研究の価値、面白さを、それを専門としていない人に、どうしたら面白く伝えることができるかを考えるようになった。（国際公共政策・博士前期課程）
- \*私は教員になりたいと思ってこの授業を受講したわけではありません。それでも、教育において重要なことを学ぶいい機会になりました。（工学・博士前期課程）
- \*この授業で学んだことは、すぐ、自分の研究に役立てたいし、後輩の指導にも応用しようと考えている。（理学・博士後期課程）

## 2021年度開講スケジュール

夏学期 豊中 08/16~18 各日10:00~18:30  
\*日程の一部オンラインあり

秋学期 オンライン 10/29~31 各日10:00~18:30



**ウェブエントリー受付中!**

<https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ffp/form/>

※定員を超えた場合、エントリー内容をもとに選抜を行う可能性があります。



全学教育推進機構 教育学習支援部 未来の大学教員養成プログラム (FFP) 担当

Web : <https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/ffp/>

問合せ先: [tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)